

守ろう!

# 自転車利用のルールとマナー

5月は自転車月間です。自転車は、環境に優しく、健康づくりにも役立つ乗り物ですが、路上放置や危険走行など、使い方を間違えれば交通安全を脅かす存在になってしまいます。自転車利用の「ルールとマナー」を守り、誰もが安全、安心に自転車を利用できるまちをつくりましょう。



ヘルメットをかぶって安全に走ろうね!

自転車の通行は原則車道で左側通行、飲酒や夜間の無灯火運転などは禁止されていますので、日ごろから自転車の交通ルールを守って安全に利用しましょう。  
保護者は子どもにもヘルメットをかぶらせましょう。また全ての自転車利用者がヘルメットを着用するよう努めましょう。

## の

走行ルールを守って安全に

### 守ろう!自転車安全利用5則

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
- 5 子どもはヘルメットを着用

## みる

点検 日ごろの点検が大事

自転車による事故を防ぐには、自転車のメンテナンスも大切。日ごろから自転車の状態を確認するとともに、自転車店での定期点検も忘れずにしましょう。

TSマーク



自転車小売店などで安全点検(有料)を受けることで、傷害・賠償責任保険が付加されるTSマーク制度があります。万が一の事故に備えましょう。  
※赤色TSマークの保険内容の一部変更(平成26年10月1日から)  
●賠償責任補償額 2千万円⇒5千万円  
●被害者見舞金 (新設)一律10万円

### 乗る前の日常点検を!



自転車店での定期点検も忘れずにね。

- ぶ …ブレーキの利き具合は?
- た …タイヤの空気圧は?
- は …ハンドルはゆがんでいない?
- しゃ …車体に変形していない?
- べる …ベルはちゃんと鳴る?

## 自転車等放置禁止区域・駐輪場マップ

//// 自転車放置禁止区域 ■ 駐輪場



### 大街道・銀天街東部地区周辺

- ①サイクルステーション「モンキーズ」(有料)  
時間: 午前7時から午前0時  
車種: 自転車・バイク(限定なし)  
※定期利用・レンタサイクルあり
- ②松山全日空ホテル駐輪場(有料)  
時間: 午前6時から午前1時  
車種: 自転車・バイク(限定なし)  
※定期利用のみ
- ③トーマス三越駐輪場(有料・短時間無料)  
時間: 24時間  
車種: 自転車・バイク(100cc以下)  
※定期利用あり
- ④お城下パーキング2番町(有料・短時間無料)  
時間: 24時間  
車種: 自転車・原付(50cc以下)
- ⑤フラワーパーキング(有料)  
時間: 24時間  
車種: 自転車・バイク(限定なし)
- ⑥キスケパーキング三番町(有料・短時間無料)  
時間: 24時間  
車種: 自転車・バイク(限定なし)  
※自転車のみ定期利用あり
- ⑦市営大街道駐輪場(有料・短時間無料)  
時間: 午前7時から午前0時  
車種: 自転車・原付(50cc以下)  
※定期利用・レンタサイクルあり
- ⑧住宅情報館駐輪場(有料・短時間無料)  
時間: 24時間  
車種: 自転車・バイク(限定なし)  
※定期利用あり
- ⑨河原学園地下駐輪場(無料)  
時間: 午前9時から午後8時  
車種: 自転車  
※土日祝日は出入庫不可の場合あり
- ⑩松山銀天街GET駐輪場(有料・短時間無料)  
時間: 24時間  
車種: 自転車・原付(50cc以下)

### JR松山駅周辺

- ①②③④ 松山駅前第1~第4駐輪場(無料)  
時間: 24時間  
車種: 自転車
- ⑤市営松山駅前駐輪場(有料)  
時間: 24時間  
(有人管理は午前7時から午後7時)  
車種: 自転車・原付(50cc以下)  
※定期利用・レンタサイクルあり
- ⑥キスケBOXバイク置場(無料)  
時間: 24時間  
車種: バイク(限定なし)
- ⑦⑧キスケBOX自転車置場(無料)  
時間: 24時間  
車種: 自転車

市営松山駅前駐輪場を定期利用している人は、市営大街道駐輪場を無料でご利用いただけます。

## とめる

駐輪 駐輪場を利用しよう



一部の地域では、自転車などが歩道に長時間放置され、歩行者の安全な通行が妨げられています。「ちよつとくらいい」という気持ちで1台の自転車を路上に止めることで、放置自転車が集まり、歩行者が安全に通行するための道路が、危険な道路になってしまいます。自転車・バイクは決められた場所へ正しく駐輪しましょう。

平成27年

## 春の全国交通安全運動

交通事故死事故ゼロ社会を目指して、春の全国交通安全運動が5月11日~20日まで、全国一斉に実施されます。家庭・学校・職場・地域でお互いが「交通事故を起こさない」「交通事故に遭わない」「よっ心掛けましょう。また、交通事故による死者のうち高齢者の割合が高くなっています。思いやりのある運転を心掛けましょう。

